

2011年9月号
No.503

りゅうぎん調査

2011年9月号

Bank of the Ryukyus'
Okinawan Economic Review

No.503



琉球銀行



りゅうぎん総合研究所

県内の景気動向

概況（2011年7月）

景気は、持ち直しの動きがみられる

観光関連では、入域観光客数が前年を下回る

消費関連では、百貨店、スーパーが前年を上回る

7月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店売上高は旧盆のずれによる中元ギフトの増加などから引き続き前年を上回った。スーパー売上高は、既存店では食料品などの増加により引き続き前年を上回り、全店でも引き続き前年を上回った。新車販売は、エコカー補助金制度の終了などから引き続き前年を下回ったが、電気製品卸売は、地上デジタル放送への完全移行によるテレビの増加などにより引き続き前年を上回った。建設関連では、公共工事請負金額は、国の大型案件などにより前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事の大型案件などにより前年を上回った。建設資材出荷・売上では、セメント、生コン、鋼材、木材ともに前年を上回った。入域観光客数は、国内客、外国客ともに減少したことから引き続き前年を下回った。主要ホテルの稼働率は、那覇市内の低下により引き続き前年を下回り、売上高も引き続き前年を下回った。主要観光施設の入場者数は、前年を上回った。

総じてみると、観光関連が弱含みとなり、建設関連は一部で持ち直しの動きがみられ、消費関連の一部に堅調な動きがみられることから、県内景気は持ち直しの動きがみられる。

消費関連

百貨店売上高は、旧盆の時期が前にずれたこと（前年は8月下旬、今年は8月中旬）により中元ギフト（主に食料品）が増加し、衣料品も増加したことなどから2カ月連続で前年を上回った。スーパー売上高（既存店）は、衣料品は減少したものの食料品が増加したことなどから2カ月連続で前年を上回った。全店ベースでは新設店効果などから10カ月連続で前年を上回った。新車販売は、エコカー補助金制度が終了したことなどから10カ月連続で前年を下回った。電気製品卸売販売は、地上デジタル放送の完全移行に向けたテレビの駆け込み需要などから2カ月連続で前年を上回った。

建設関連

公共工事請負金額は、国などの大型案件により2カ月ぶりに前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事の大型案件等により2カ月ぶりに前年を上回った。建設資材関連では、セメント、生コンともに3カ月ぶりに前年を上回った。鋼材は、前年の大幅減による反動により2カ月連続で前年を上回った。木材は、戸建て向け出荷の増加などから3カ月ぶりに前年を上回った。

観光関連

入域観光客数は、国内客、外国客が減少したことから、8カ月連続で前年を下回った。県内主要ホテルは、稼働率はリゾートがほぼ前年並みだったものの那覇市内が低下し、6カ月連続で前年を下回った。売上高は那覇市内、リゾートともに減少し9カ月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、9カ月ぶりに前年を上回った。ゴルフ場入場者数（速報値）は、7カ月ぶりに前年を上回った。

雇用関連

新規求人数は前年同月比1.5%減となり3カ月ぶりに減少した。有効求人倍率（季調値）は0.28倍と前月と同水準になった。完全失業率（季調値）は7.7%と前月から0.1ポイント悪化した。

その他

消費者物価指数は、食料、住居、光熱・水道、交通・通信、被服・履物、諸雑費などが上昇したことから、前年同月比1.6%増と4カ月連続で前年を上回った。企業倒産は、件数が6件と前年同月より2件増加し、負債総額は60億4,800万円となり前年同月比1,001.6%の増加となった。

りゅうぎん調査(2011年7月)

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2011.5 - 2011.7)
1. 消費関連		
(1)百貨店(金額)	11.0	4.4
(2)スーパー(既存店)(金額)	5.1	2.9
(3)スーパー(全店)(金額)	6.9	4.8
(4)新車販売(台数)	18.9	20.6
(5)電気製品卸売(金額)	1.7	2.5
2. 建設関連		
(1)公共工事請負金額(金額)	26.6	17.8
(2)建築着工床面積(m ²)	(6月) 23.2	(4-6月) 53.5
(3)新設住宅着工戸数(戸)	(6月) 24.6	(4-6月) 42.6
(4)建設受注額(金額)	204.1	40.7
(5)セメント(トン数)	3.6	1.6
(6)生コン(m ³)	4.3	5.5
(7)鋼材(金額)	8.7	3.0
(8)木材(金額)	4.3	4.7
3. 観光関連		
(1)入域観光客数(人数)	6.7	10.3
(2)県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 1.4 (実数) 74.1	(前年同期差) 5.3 (実数) 61.6
(3) " 売上高(金額)	3.6	9.9
(4)観光施設入場者数(人数)	1.4	7.1
(5)ゴルフ場入場者数(人数)	P 8.3	P 0.3
(6) " 売上高(金額)	P 3.0	P 7.1
4. その他		
(1)県内新規求人数(人数)	1.5	7.3
(2)有効求人倍率(季調値)	(実数) 0.28	(実数) 0.28
(3)消費者物価指数(総合)	1.6	1.0
(4)企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 2	(前年同期差) 4.0
(5)広告収入(県内マスコミ)(金額)	(6月) 6.6	(4-6月) 6.3
(6)電力使用量(百万Kwh)	(6月) 0.7	(4-6月) 3.7

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

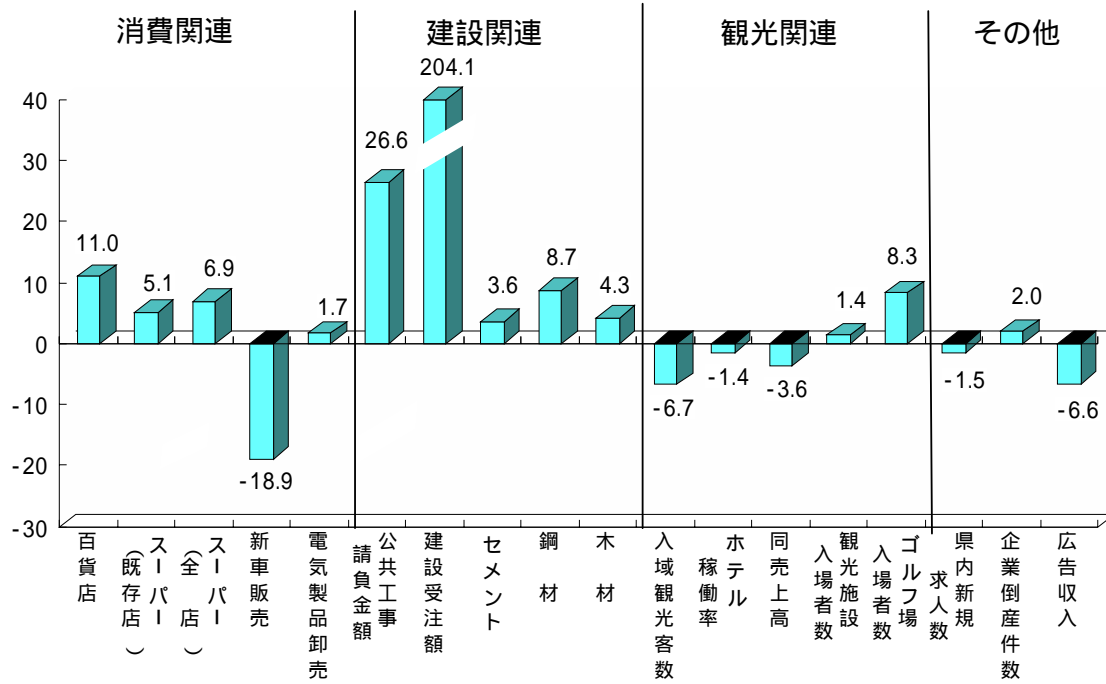
(注2) 電気製品卸売は、2010年4月より調査先を7社から4社とした。

(注3) 主要ホテルは、2010年9月より調査先を18ホテルから19ホテルとした。

(注4) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先を6施設から5施設とした。

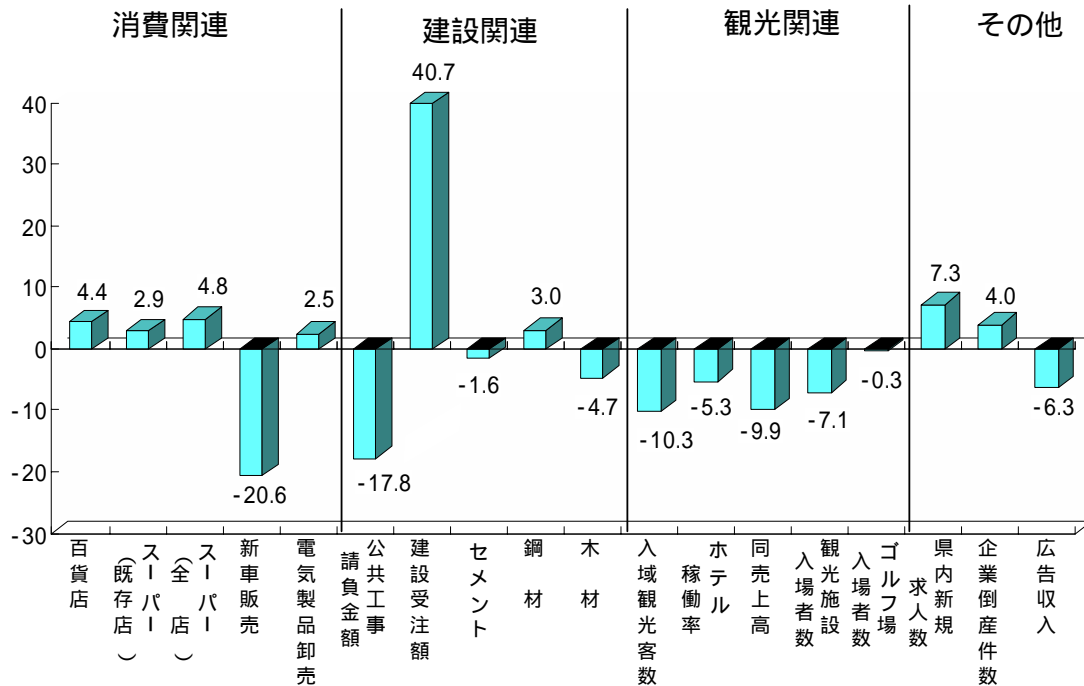
(注5) 企業倒産件数の前年同期差は、月平均件数の前年同期差。

項目別グラフ(単月、2011年7月)



(注) 広告収入は11年6月分。数値は前年比(%)。ゴルフ場入場者数は速報値。
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。

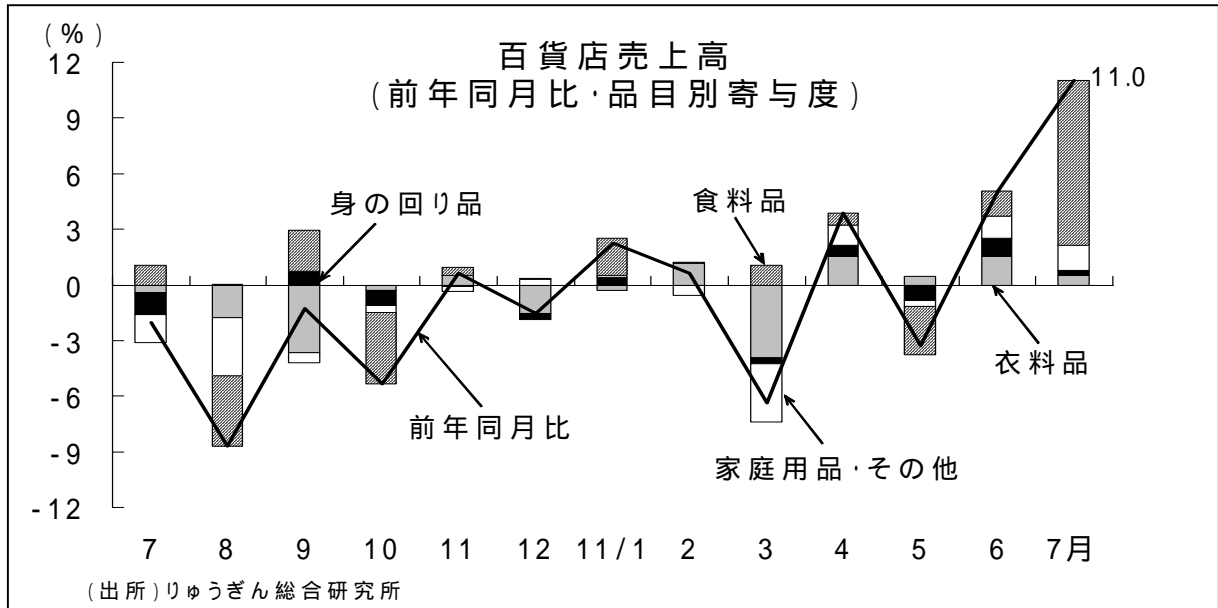
項目別グラフ(3カ月、2011年5~7月)



(注) 広告収入は11年4~6月分。数値は前年比(%)。ゴルフ場入場者数は速報値。
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は月平均の前年差。

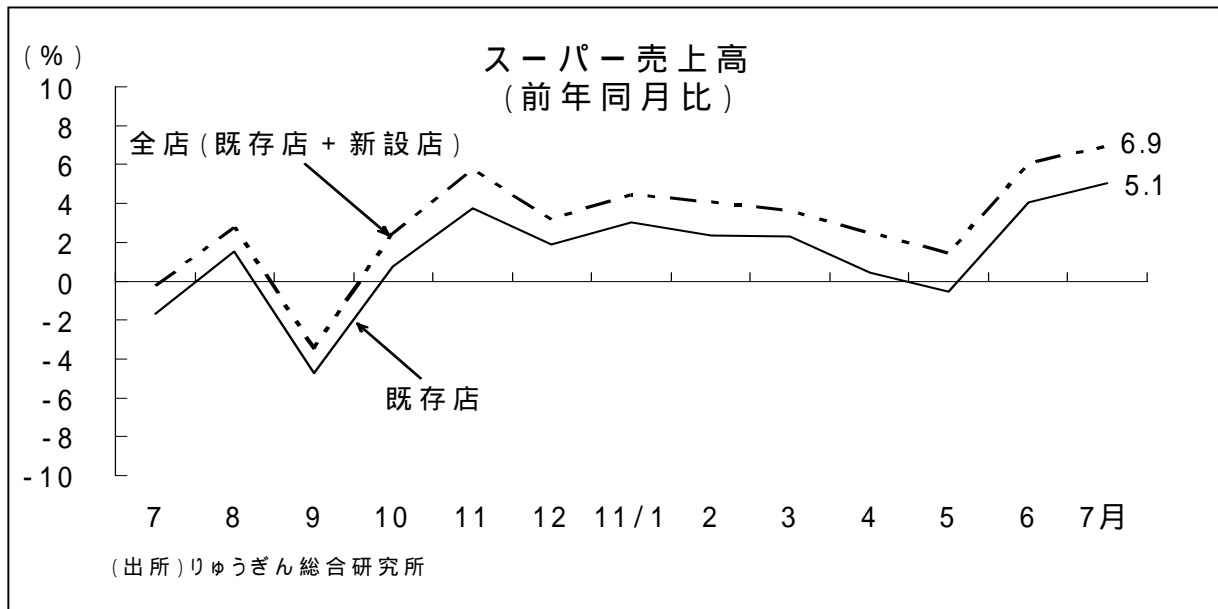
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：2カ月連続で増加



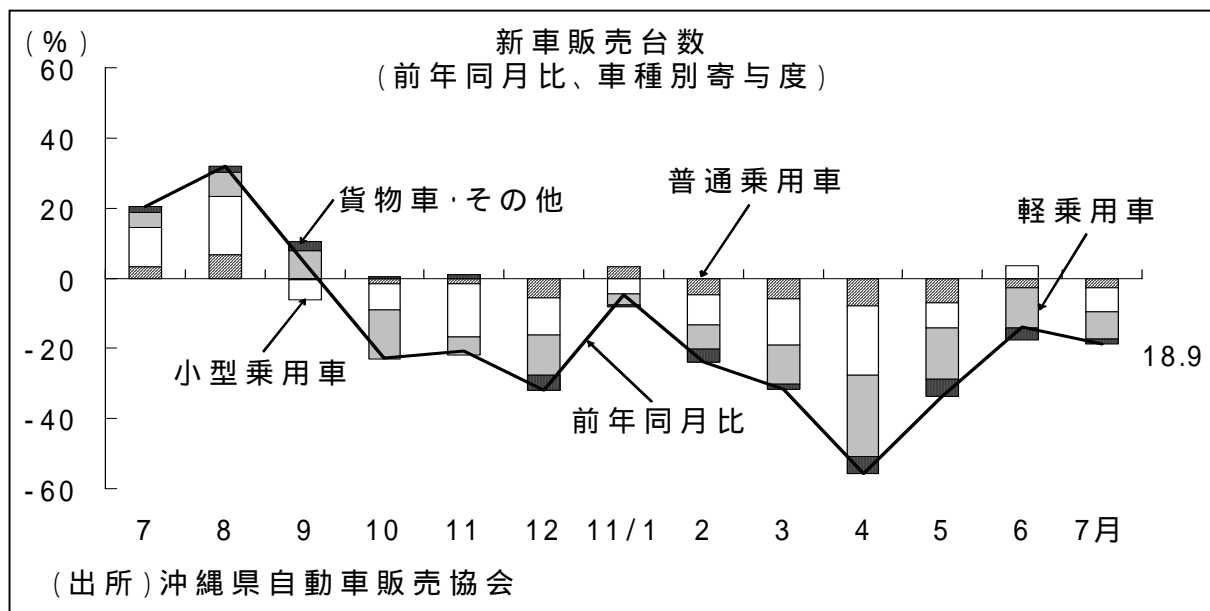
- 百貨店売上高は、旧盆の時期が前にずれたこと（前年は8月下旬、今年は8月中旬）から中元ギフト（主に食料品）が増加し、一部店舗で衣料品フロアがリニューアルオープンしたことから衣料品が増加したことなどにより前年同月比 11.0%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 品目別にみると、衣料品（同 1.4%増）、食料品（同 29.4%増）、身の回り品（同 2.9%増）、家庭用品・その他（同 6.2%増）が増加した。

(2) スーパー売上高：全店ベースは10カ月連続で増加



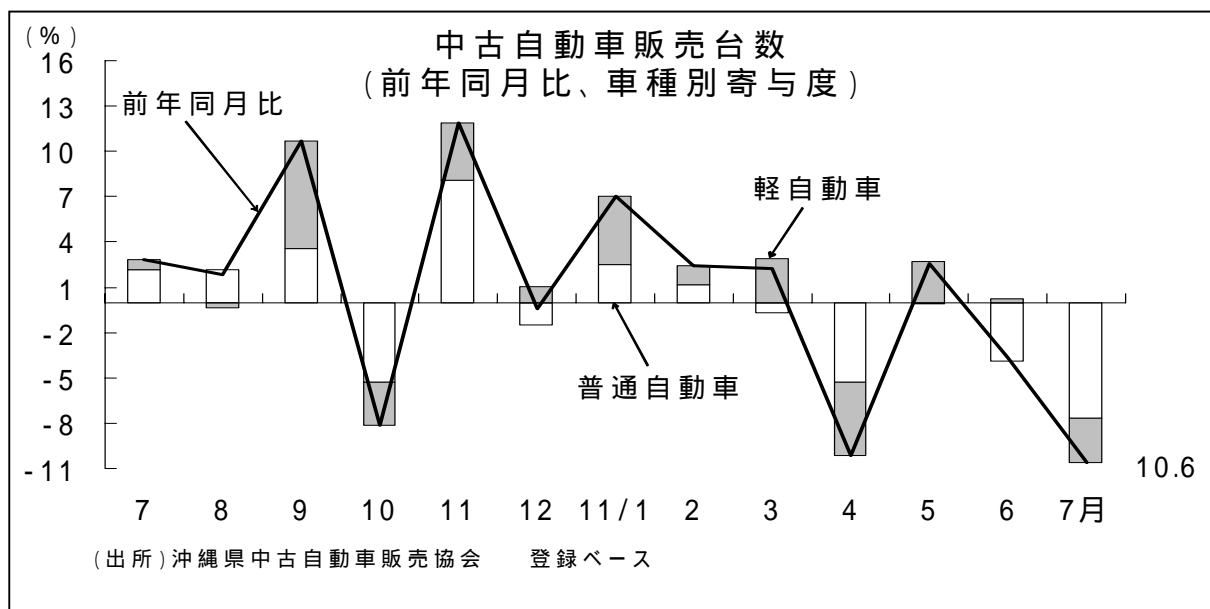
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 5.1%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 前年より好天に恵まれ、休日が1日多く客数が増加したことや、単価が上昇したことなどから食料品は同 4.0%増となったが、衣料品は 3.8%減となった。家電を含む住居関連は 12.2%増となった。
- 全店ベースは、新設店効果などから 6.9%増と10カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：10カ月連続で減少



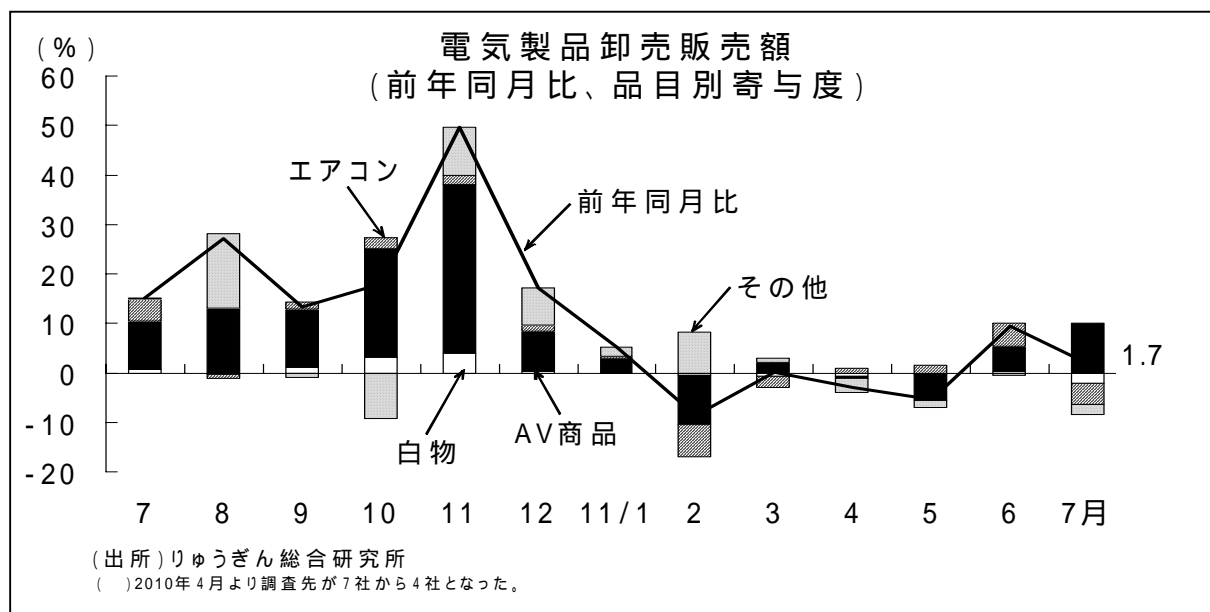
- ・ 新車販売台数は4,929台となり、エコカー補助金制度が終了したことや東日本大震災の影響により車の納入が一部遅れていることなどから前年同月比18.9%減と10カ月連続で前年を下回った。しかし震災による納入の遅れは改善しており、一時に比べ減少幅は縮まっている。
- ・ 普通自動車(登録車)は3,248台(同16.4%減)で、うち普通乗用車は445台(同26.7%減)、小型乗用車は2,681台(同13.6%減)であった。軽自動車(届出車)は1,681台(同23.2%減)で、うち軽乗用車は1,381台(同25.6%減)であった。

(4) 中古自動車販売台数(登録ベース)：2カ月連続で減少



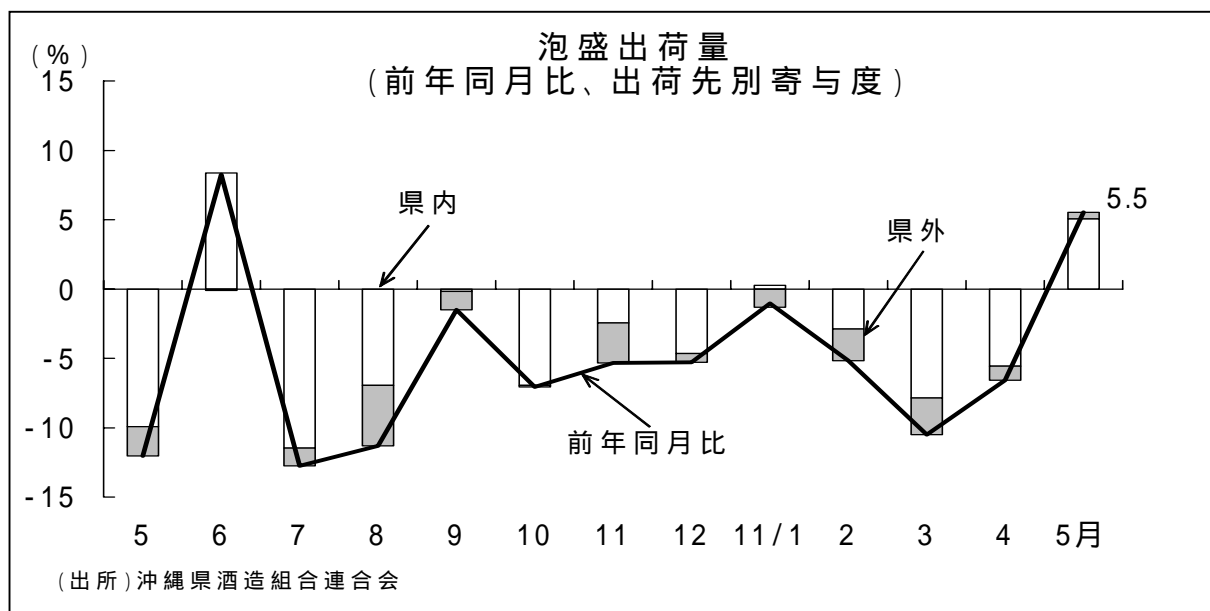
- ・ 中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は、前年同月比10.6%減となり2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は同16.0%減、軽自動車は同5.7%減となった。

(5) 電気製品卸売販売額：2 カ月連続で増加



- ・ 電気製品卸売販売額は、7月24日に地上デジタル放送に完全移行したことからテレビの駆け込み需要がみられたことなどにより前年同月比1.7%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 品目別にみると、AV商品ではテレビが同34.8%増、DVDレコーダーが同56.3%増、白物では洗濯機が同1.8%減、冷蔵庫が同25.2%減、エアコンが同20.9%減、その他は同5.1%減となった。

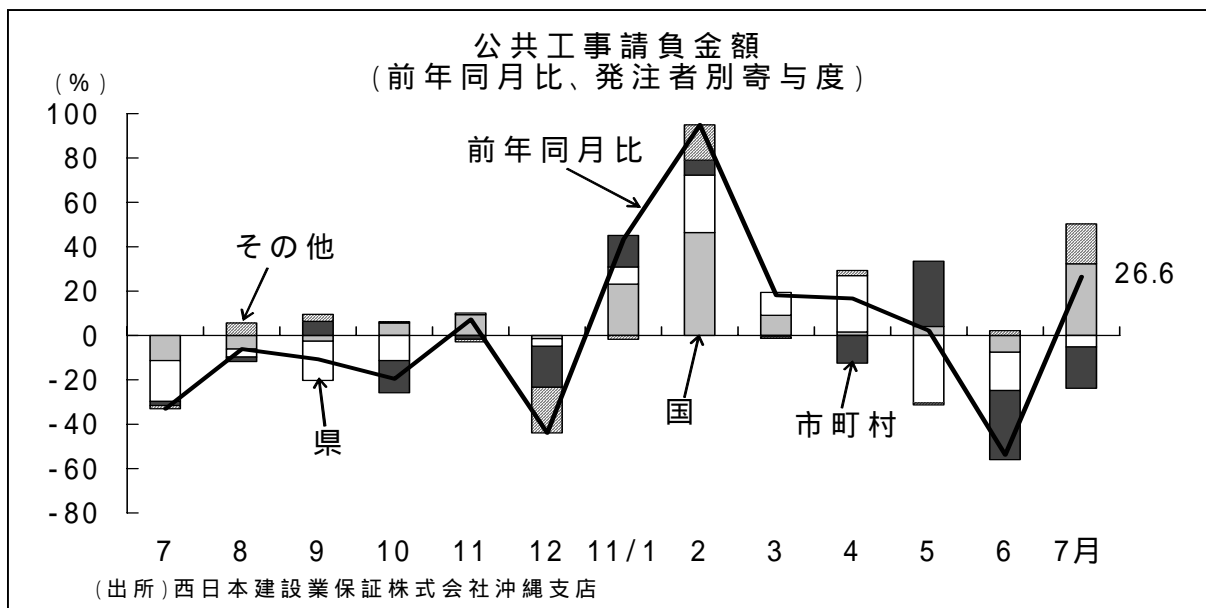
(6) 泡盛出荷量 (速報ベース)：11 カ月ぶりに増加



- ・ 泡盛出荷量 (5月) は、前年同月比5.5%増と11カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 県内出荷量は同6.0%増となり、県外出荷量は同3.1%増となった。

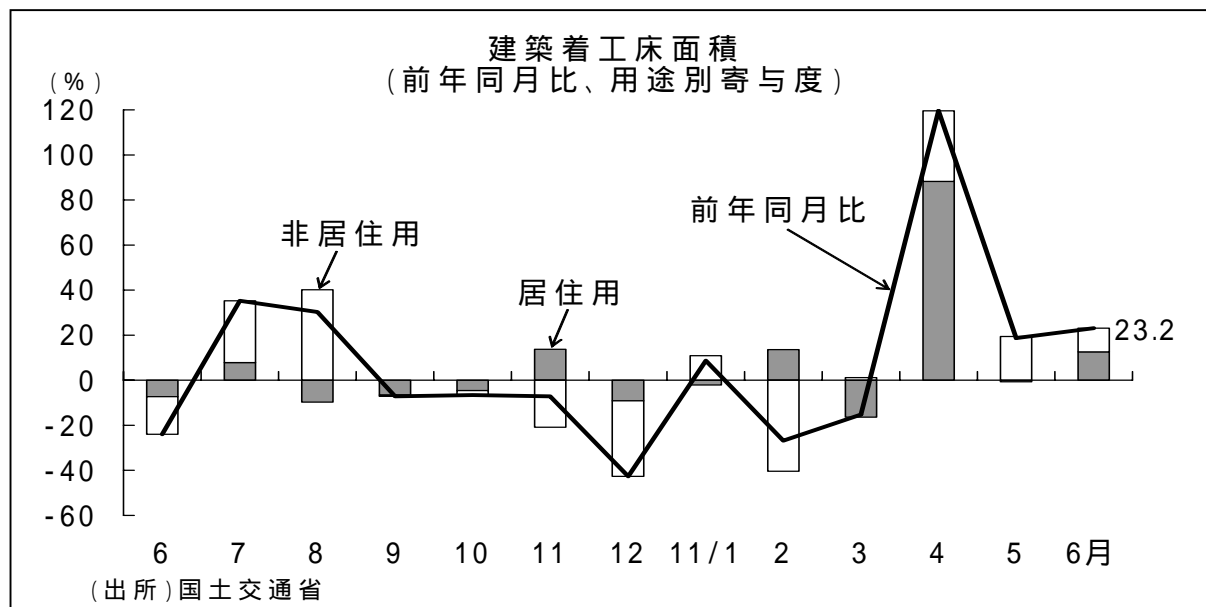
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月ぶりに増加



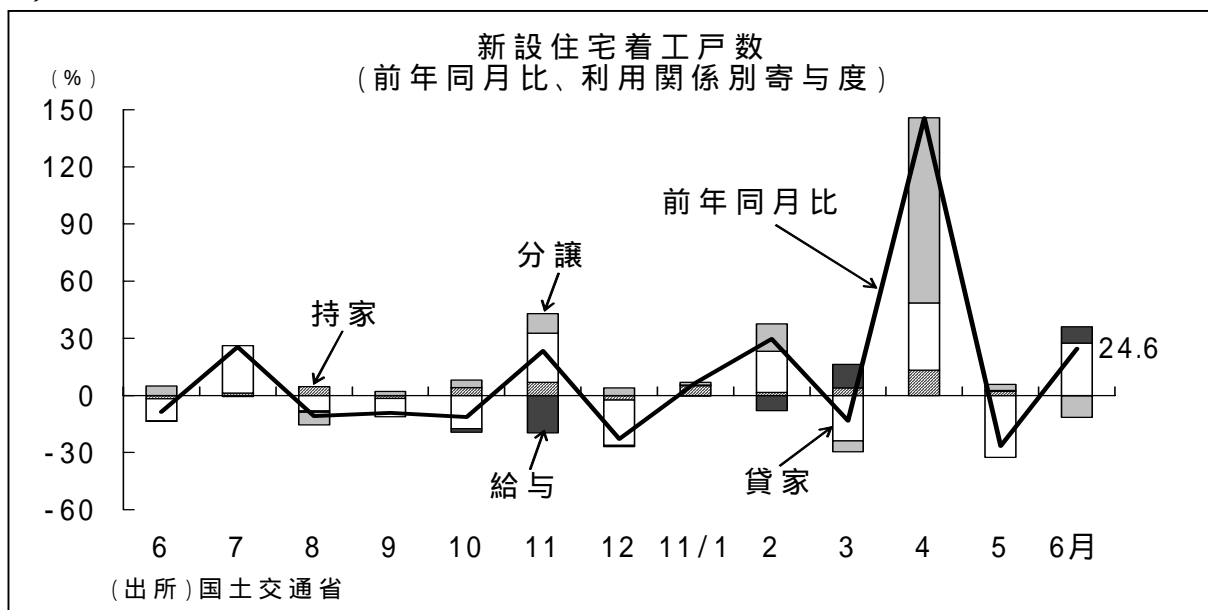
- 公共工事請負金額は、221億7,300万円で前年同月比26.6%増となり、国、独立行政法人等・その他において大型案件があったことなどから、2カ月ぶりに前年を上回った。
- 発注者別では、国(同161.8%増)、独立行政法人等・その他(同437.3%増)が増加し、県(同18.1%減)、市町村(同39.9%減)が減少した。
- 大型工事としては、億首ダム本体建設工事、南大東漁港(北大東地区)掘削工事、石垣空港ターミナルビル(仮称)新築工事(国内線建築)などがあった。

(2) 建築着工床面積：3カ月連続で増加



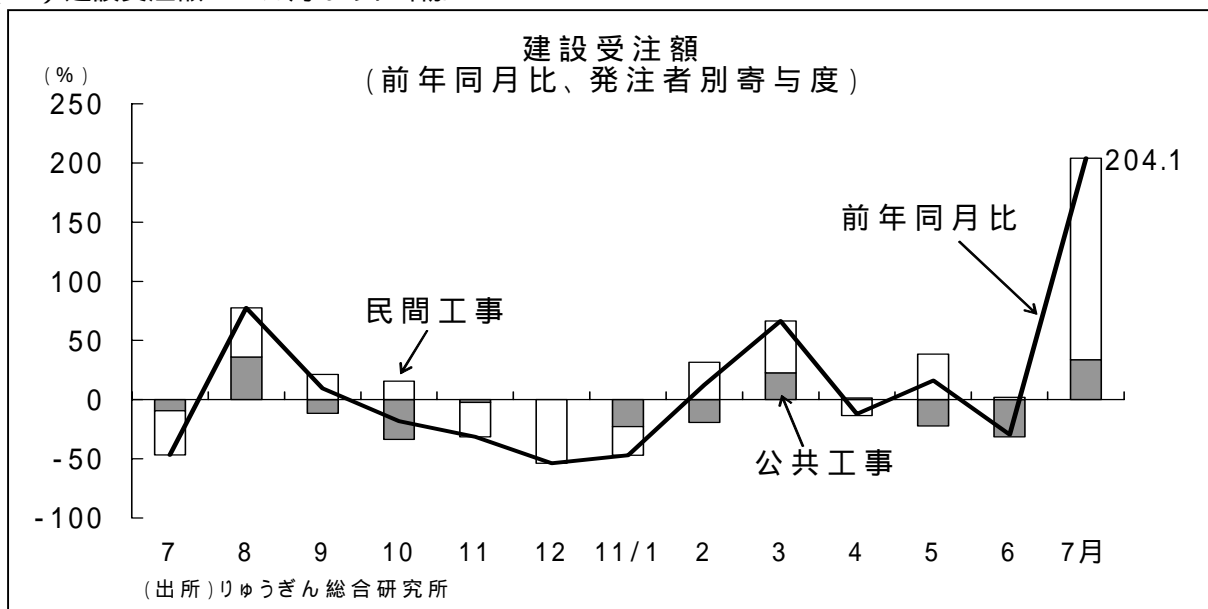
- 建築着工床面積(6月)は、17万439㎡で前年同月比23.2%増となり、居住用、非居住用ともに増加したことから、3カ月連続で前年を上回った。用途別では、居住用が同22.3%増となり、非居住用は同24.2%増となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では居住専用が増加した。非居住用では、教育・学習支援業用、医療、福祉業用などが増加し、運輸業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月ぶりに増加



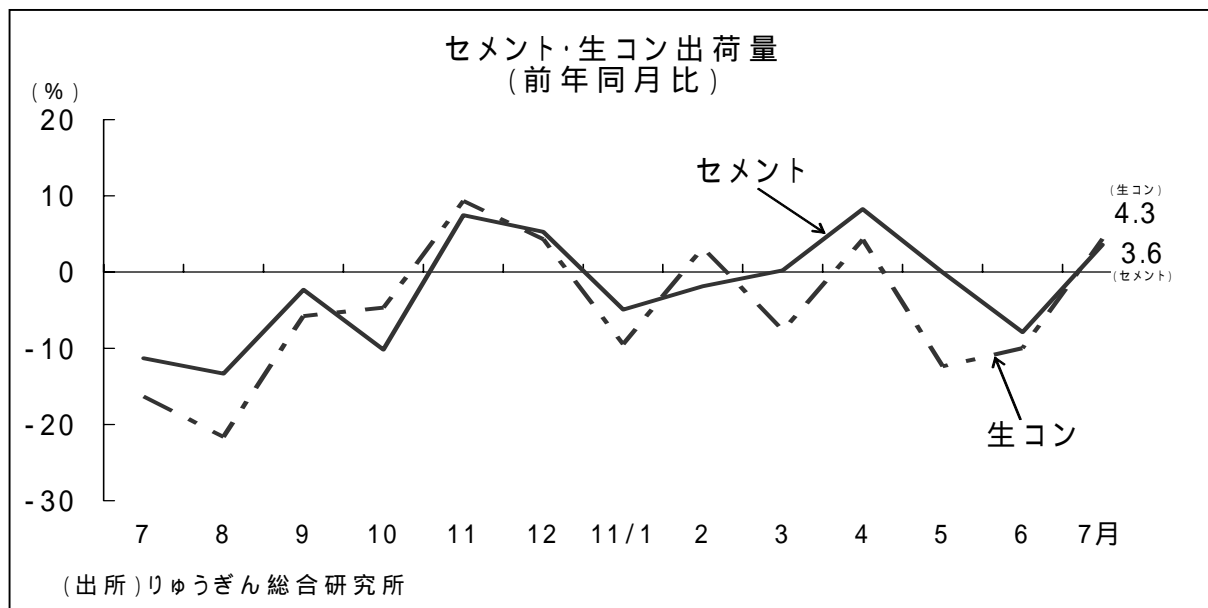
- ・ 新設住宅着工戸数(6月)は1,151戸となり、ウエイトの高い貸家が公営住宅の建て替えがあったことなどから大幅に増加し、前年同月比24.6%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、貸家(同44.9%増)、给与(全増)が増加し、持家(同1.3%減)、分譲(同79.8%減)が減少した。

(4) 建設受注額：2カ月ぶりに増加



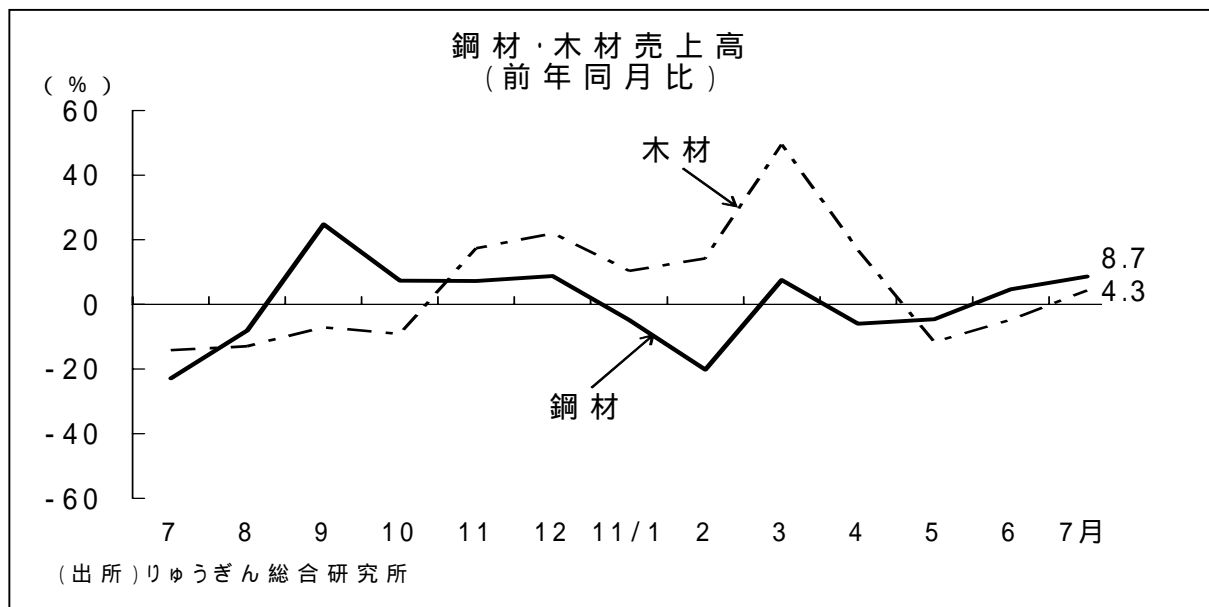
- ・ 建設受注額(調査先建設会社:20社)は、民間工事において大型案件があったことから、前年同月比204.1%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事(同162.1%増)は3カ月ぶりに増加し、民間工事(同215.2%増)は3カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメント、生コンともに3カ月ぶりに増加



- ・ セメント出荷量は、6万1,102トンとなり前年同月比3.6%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 生コン出荷量は、13万6,925立方メートルで同4.3%増と3カ月ぶりに前年を上回った。公共工事向け、民間工事向け出荷ともに増加した。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、学校関連工事向けなどが増加し、防衛省工事向けなどが減少した。民間工事では、分譲マンションや医療関連工事向けなどが増加し、商業施設工事向けなどが減少した。

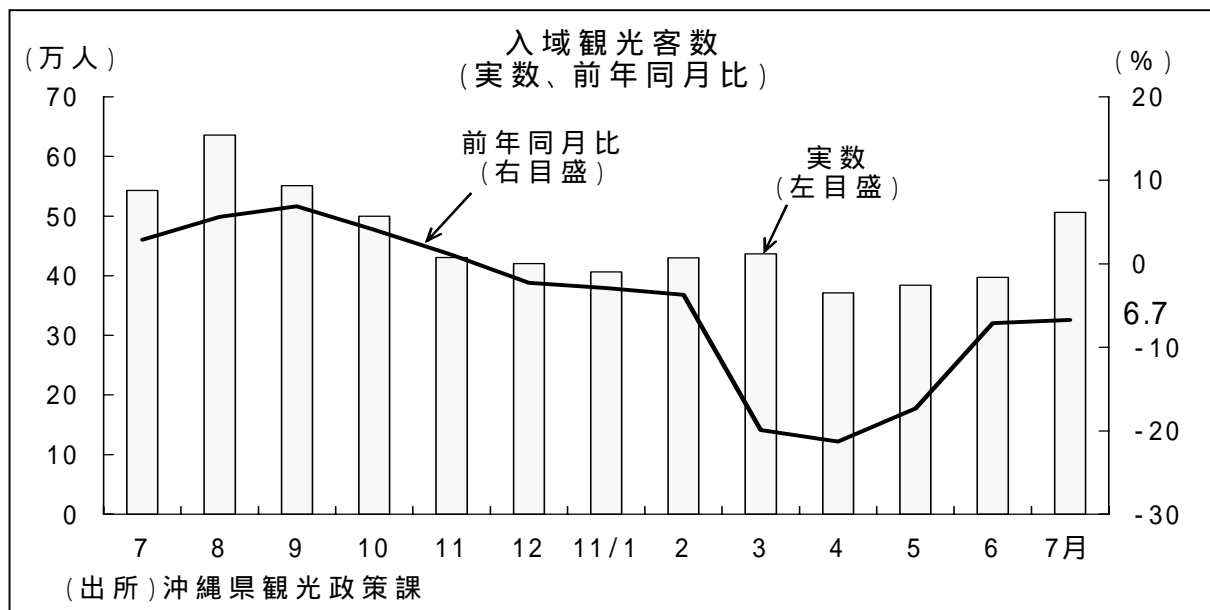
(6) 鋼材・木材：鋼材は2カ月連続で増加、木材は3カ月ぶりに増加



- ・ 鋼材売上高は、前年の大幅減の反動により、前年同月比8.7%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、戸建て向け出荷などの増加により、同4.3%増と3カ月ぶりに前年を上回った。

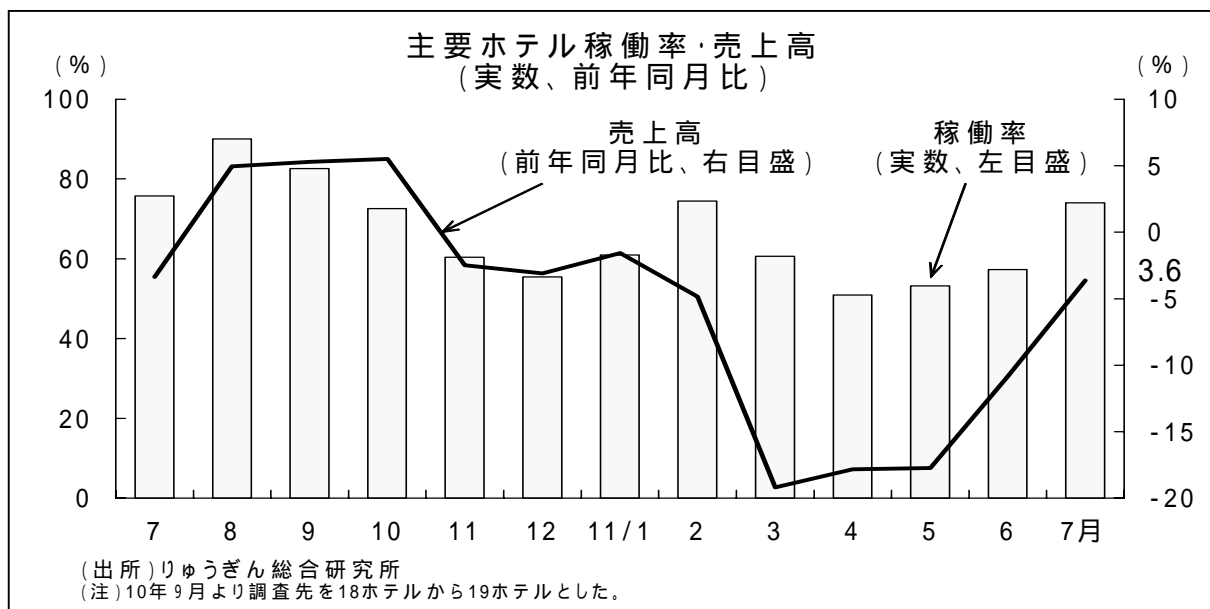
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：8カ月連続で減少



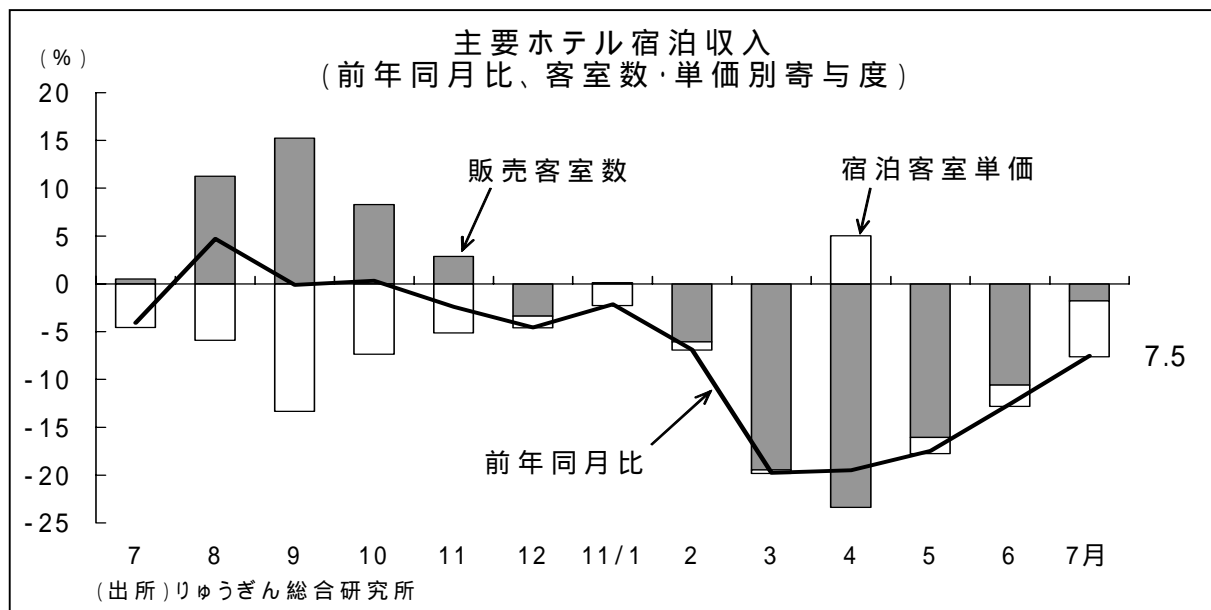
- ・ 入域観光客数は50万6,500人で、前年同月比6.7%減となり、8カ月連続で前年を下回った。国内客、外国客ともに減少したが、国内客は名古屋方面、外国客は韓国、香港からの入域が増加した。
- ・ 空路入域客数は、外国客は増加したものの、国内客が減少し、48万8,100人(同5.6%減)と、8カ月連続で前年を下回った。海路入域客数は、国内客、外国客ともに減少し、1万8,400人(同29.2%減)と、2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 8月1日～20日の本土発沖縄向け航空旅客輸送実績(スカイマークエアラインを除く)は前年同月比10.2%減となり、9カ月連続で前年を下回った。

(2) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は6カ月連続で低下、売上高は9カ月連続で減少



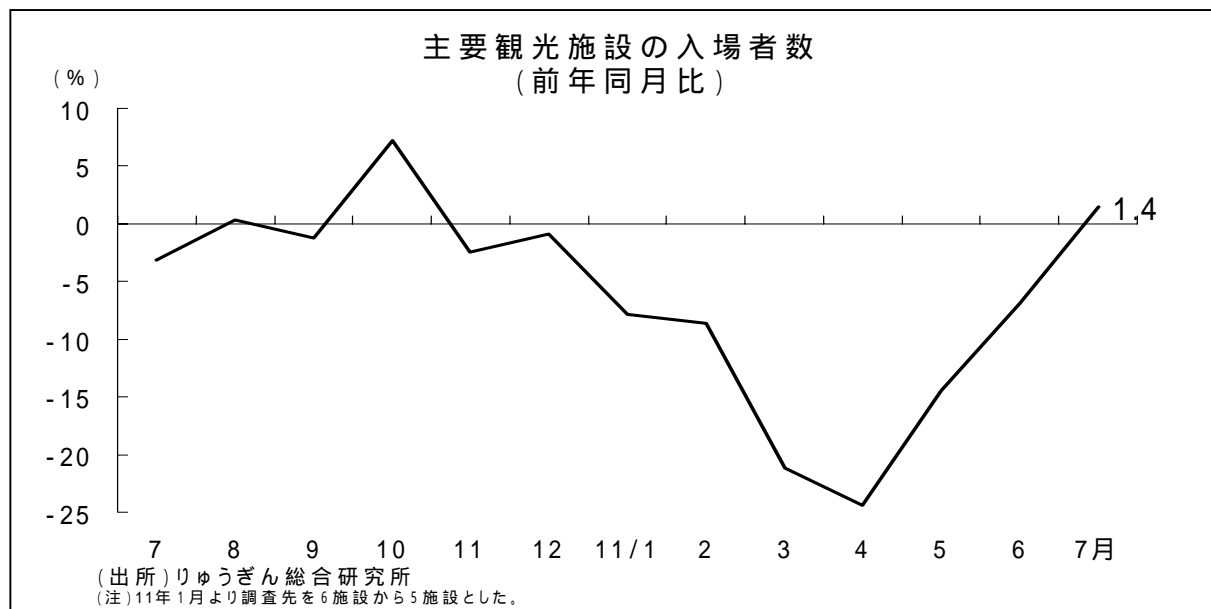
- ・ 主要ホテルは、客室稼働率は74.1%と前年同月比1.4%ポイント低下し6カ月連続で前年を下回った(調査先変更後前年客室稼働率75.4%)。売上高は同3.6%減少し9カ月連続で前年を下回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、客室稼働率63.4%と同3.8%ポイント低下(同前年稼働率67.1%)。売上高は同8.6%の減少となった。リゾート型ホテルは、客室稼働率80.9%で同0.2%ポイント上昇、売上高は同2.2%の減少となった。

(3) 主要ホテル宿泊収入：9カ月連続で減少



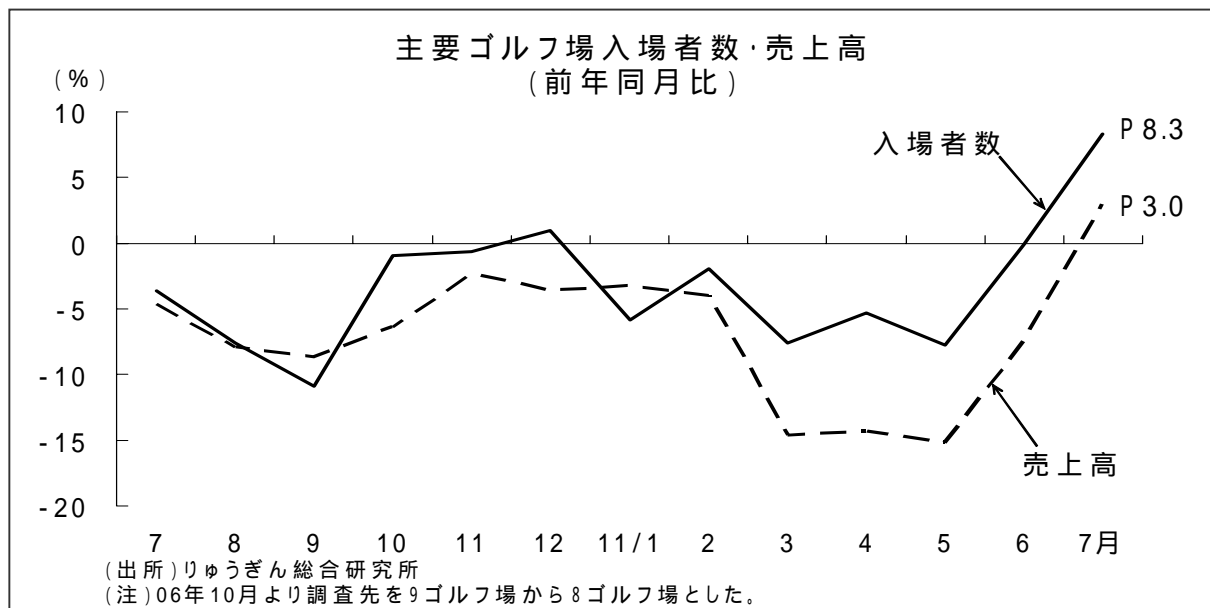
- ・ 主要ホテル売上高のうち宿泊収入についてみると、宿泊客室単価（価格要因）、販売客室数（数量要因）がともに減少し、前年同月比7.5%減と、9カ月連続で前年を下回った。

(4) 主要観光施設の入場者数：9カ月ぶりに増加



- ・ 主要観光施設の入場者数は、前年同月比1.4%増となり、9カ月ぶりに前年を上回った。

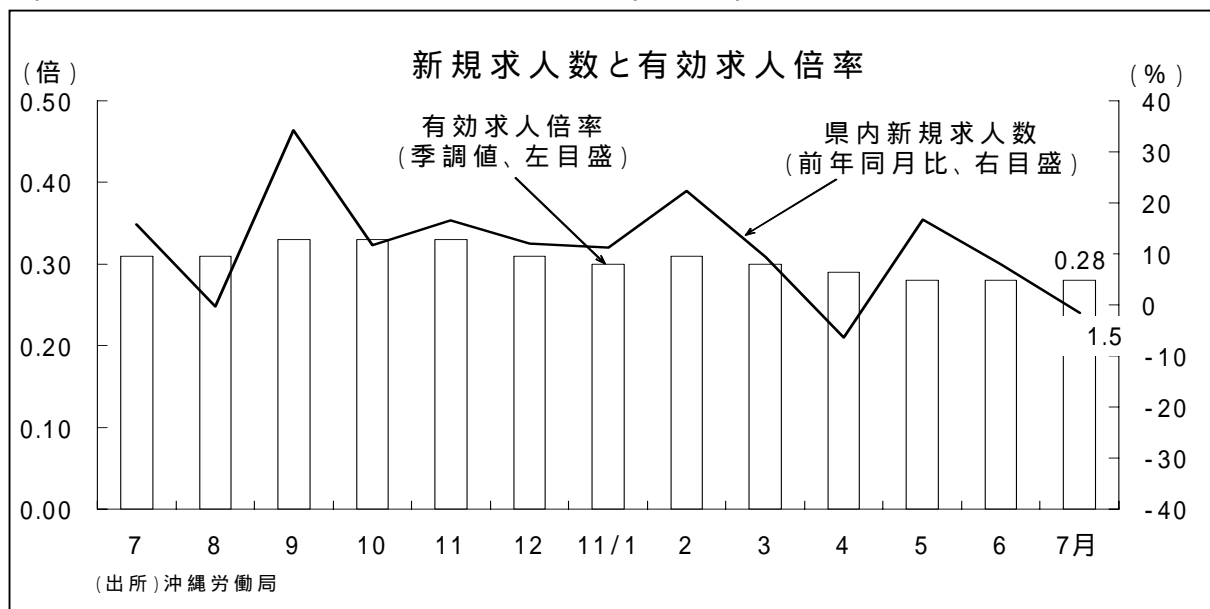
(5) 主要ゴルフ場入場者数・売上高 (速報値): 入場者数、売上高ともに増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数(速報値)は、県外客は減少したものの、県内客が増加し、前年同月比8.3%増と7カ月ぶりに前年を上回った。売上高(速報値)は、同3.0%増となり、13カ月ぶりに前年を上回った。

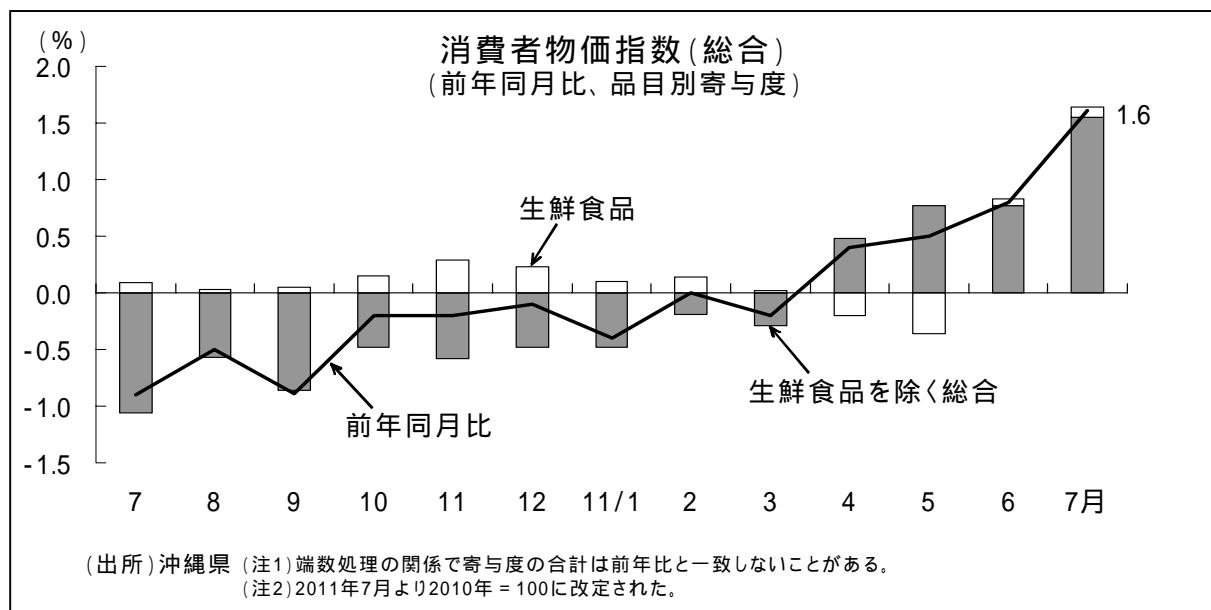
4 . その他

(1) 雇用関連：新規求人数は減少、有効求人倍率(季調値)は同水準



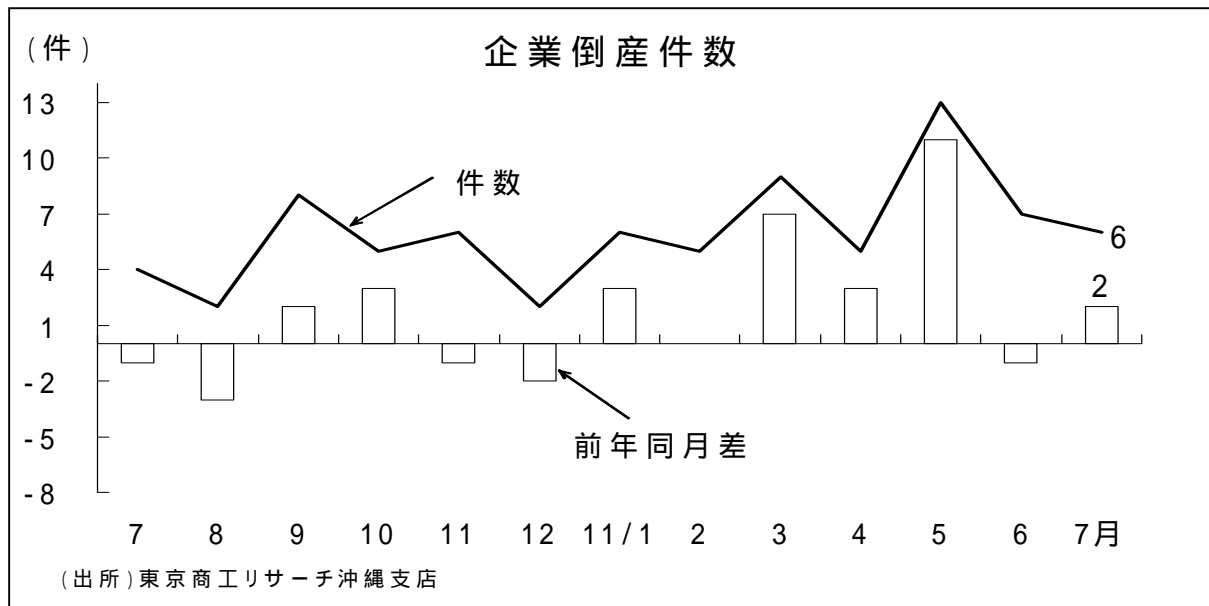
- ・ 新規求人数は、前年同月比1.5%減となり3カ月ぶりに減少した。産業別にみると、運輸、郵便業、公務・その他、卸売業、小売業、製造業、医療、福祉業、宿泊、飲食サービス業などで増加し、情報通信業、サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、建設業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は0.28倍となり、前月と同水準となった。
- ・ 労働力人口は、66万8,000人で同1.6%減となり、就業者数は、61万9,000人で同2.4%減となった。完全失業者数は4万9,000人で同11.4%増となった。完全失業率(季調値)は7.7%と前月より0.1ポイント悪化した。

(2) 消費者物価指数(総合): 4カ月連続で上昇



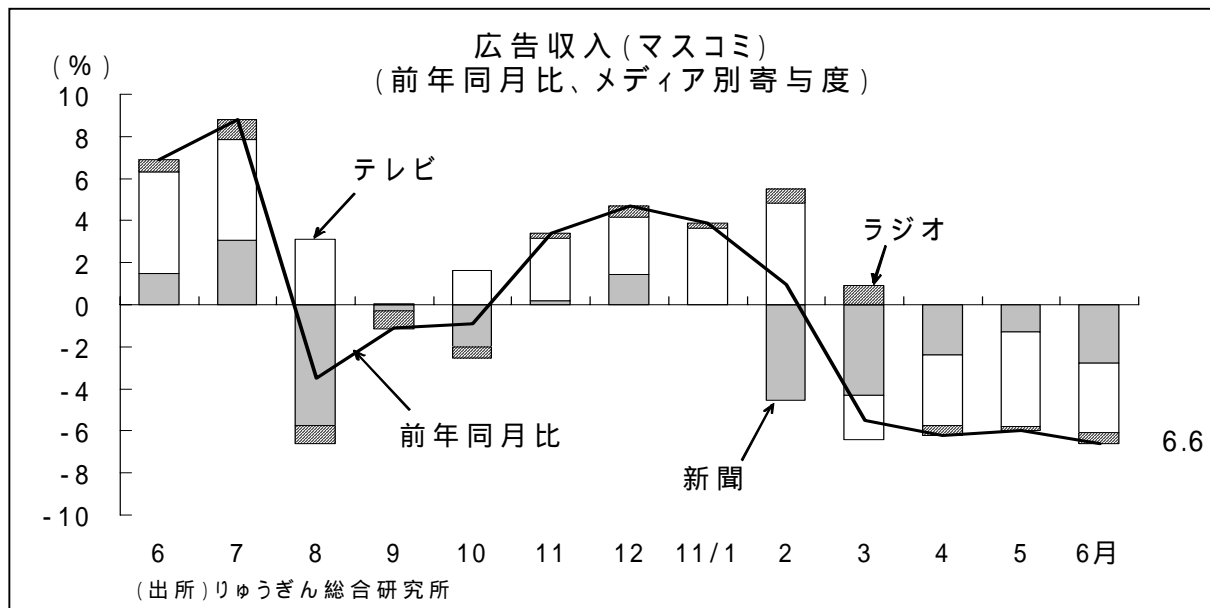
- ・ 消費者物価指数は、前年同月比 1.6%増と4カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合も、同1.6%増と上昇した。
- ・ 品目別の動きをみると、食料、住居、光熱・水道、被服・履物、交通・通信、諸雑費などが上昇し、家具・家事用品、保健医療、教養娯楽などが下落した。

(3) 企業倒産: 件数、負債総額ともに増加



- ・ 倒産件数は6件となり前年同月より2件増加した。業種別では、建設業3件(前年同月比1件減)、卸売業2件(同2件増)、サービス業1件(同1件増)であった。
- ・ 負債総額は60億4,800万円となり、大型倒産があったことから前年同月比1,001.6%の増加となった。

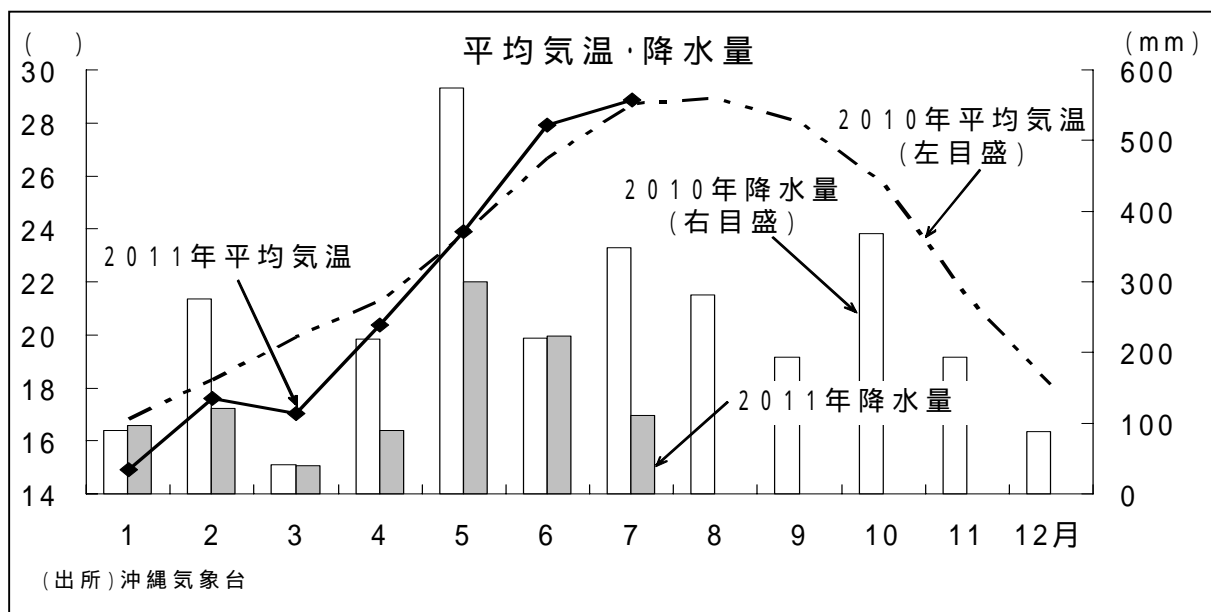
(4) 広告収入(マスコミ): 4カ月連続で減少



- ・ 広告収入(マスコミ: 6月)は、前年同月比 6.6%減と4カ月連続で前年を下回った。新聞、ラジオ、テレビともに前年を下回った。

(参考)

気象: 平均気温・降水量(那覇)



- ・ 平均気温は 28.9 と前年同月(28.7)、平年(28.9)とほぼ同水準となった。降水量は 111.0mm と前年同月(348.5mm)より少なかった。

沖縄県内の主要経済指標.....	16
" 金融統計.....	18

沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	泡盛 出荷量	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2008	2.1	0.1	2.7	4.5	1.1	4.0	254,597	3.5	1,950.6	5.6
2009	9.4	2.0	0.9	6.7	10.9	3.2	285,283	12.1	1,888.1	3.2
2010	5.2	0.6	0.9	24.0	13.9	5.0	224,019	21.5	1,630.5	13.6
2010 6	5.6	1.4	0.1	15.0	39.6	8.3	25,423	39.3	138.4	23.9
7	2.0	1.7	0.2	15.2	20.4	12.7	17,515	33.0	185.6	35.2
8	8.7	1.5	2.8	27.0	31.9	11.3	20,757	6.1	181.0	30.3
9	1.3	4.7	3.5	13.4	4.1	1.5	31,283	10.7	140.5	7.2
10	5.3	0.8	2.5	18.0	22.8	7.1	25,226	19.6	137.2	6.6
11	0.6	3.7	5.8	49.7	20.8	5.3	17,569	7.2	150.2	7.2
12	1.5	1.9	3.2	17.2	31.9	5.1	12,455	44.0	99.6	42.7
2011 1	2.2	3.0	4.4	5.2	4.8	1.0	15,629	43.3	104.9	8.7
2	0.6	2.4	4.0	8.7	24.0	5.2	18,674	94.9	106.3	26.9
3	6.4	2.3	3.6	0.1	31.6	10.5	41,027	18.1	110.0	15.3
4	3.9	0.4	2.5	3.0	55.8	6.6	13,756	16.7	262.3	119.6
5	3.3	0.5	1.4	5.4	33.7	5.5	6,923	2.2	126.7	18.7
6	5.0	4.0	6.1	9.5	14.0	-	11,760	53.7	170.4	23.2
7	11.0	5.1	6.9	1.7	18.9	-	22,173	26.6	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	酒造連	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 電気製品卸売販売額は、2010年4月より調査先が7社から4社となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、泡盛出荷量は沖縄県酒造組合連合会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	入域観光客数		観光施設 入場者数
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	千人	前年比	前年比
2008	12,300	13.1	12.1	7.0	6.1	16.4	11.3	6,045.5	3.0	3.1
2009	11,747	4.5	22.1	3.1	0.9	23.1	9.4	5,650.8	6.5	10.9
2010	10,709	8.8	5.8	2.3	7.3	12.6	2.1	5,855.1	3.6	2.7
2010 6	924	8.7	10.6	8.2	0.7	40.8	8.3	427.7	0.2	4.3
7	1,157	25.5	45.6	11.3	16.3	22.9	14.1	543.0	2.9	3.1
8	1,064	10.8	73.2	13.3	21.7	8.1	12.9	635.7	5.6	0.3
9	873	9.2	10.1	2.3	5.8	24.8	7.0	550.8	6.9	1.2
10	905	11.4	17.9	10.2	4.7	7.4	9.2	499.5	4.1	7.2
11	1,122	23.4	31.4	7.5	9.3	7.3	17.4	430.9	1.1	2.5
12	871	22.9	53.7	5.3	4.3	8.8	21.9	420.4	2.3	0.9
2011 1	814	6.5	46.9	4.9	9.5	4.8	10.4	406.2	2.9	7.8
2	1,095	29.6	12.4	1.9	3.1	20.2	14.2	430.4	3.7	8.7
3	620	13.3	62.9	0.2	7.7	7.5	49.4	436.9	19.9	21.1
4	1,687	145.6	12.1	8.3	4.2	6.0	16.7	371.5	21.3	24.4
5	574	26.6	8.8	0.1	12.4	4.6	11.8	384.5	17.3	16.5
6	1,151	24.6	29.5	7.9	10.0	4.7	4.8	397.3	7.1	6.9
7	-	-	204.1	3.6	4.3	8.7	4.3	506.5	6.7	1.4
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ				沖縄県観光商工部 観光企画課		りゅうぎん 総合研究所	

注) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先が6施設から5施設となった。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		ゴルフ場 入場者数	広告収入	鉱工業生産指数 (季調値)		電力使用量	
	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比	2005年=100	前年比	百万Kwh	前年比
2008	70.7	80.6	1.6	1.0	3.1	4.8	98.8	1.1	3,417	0.9
2009	66.2	70.9	8.6	14.5	1.7	5.0	99.0	0.2	3,392	0.7
2010	68.7	71.2	3.3	3.2	1.8	2.8	-	-	3,395	0.1
2010 6	63.0	64.6	1.0	12.3	4.7	6.9	88.6	11.0	281	1.3
7	67.1	80.7	4.2	5.1	3.6	8.8	95.8	6.0	330	1.6
8	85.9	92.4	3.6	5.2	7.6	3.5	95.9	1.8	370	3.1
9	75.2	87.4	3.3	6.1	10.9	1.1	95.4	1.1	357	3.0
10	66.5	76.6	4.2	6.2	1.1	0.9	91.4	9.2	339	0.3
11	64.7	57.6	2.3	2.6	0.6	3.4	91.5	2.8	299	1.8
12	60.9	51.9	1.3	4.3	0.9	4.7	101.6	5.4	242	2.9
2011 1	65.0	58.3	0.1	2.6	5.8	3.9	97.3	1.0	239	0.0
2	79.2	71.4	0.6	7.5	2.0	1.0	97.5	1.8	223	0.7
3	63.6	58.7	17.1	20.4	7.6	5.5	91.7	10.0	211	3.0
4	47.4	53.3	15.4	18.9	5.3	6.2	97.5	5.3	231	6.7
5	49.6	55.5	19.0	17.2	7.7	6.0	91.1	4.3	237	4.2
6	50.2	62.0	15.7	8.4	0.1	6.7	-	-	279	0.7
7	63.4	80.9	8.6	2.2	P 8.3	-	-	-	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ					県企画部統計課			電気事業連合会	

注) ホテルは、2010年9月より調査先が18ホテルから19ホテルとなった。

注) ゴルフ場は、2006年10月より調査先が9ゴルフ場から8ゴルフ場となった。Pは速報値。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2009年2月より2005年 = 100に改定された。

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新規 求人数 (県内)	通関輸出	通関輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2008	98	72,601	584.3	2.2	7.4	1.4	0.38	15.7	81,011	263,656
2009	75	25,070	65.5	0.5	7.5	2.8	0.28	7.5	47,752	182,334
2010	49	11,048	55.9	0.5	7.6	0.8	0.31	13.1	82,119	207,981
2010 6	8	922	73.9	0.7	6.3	1.4	0.31	16.6	1,040	6,942
7	4	549	4.4	0.9	6.3	0.3	0.31	15.8	12,718	26,526
8	2	63	97.8	0.5	7.7	1.4	0.31	0.3	17,470	21,184
9	8	5,042	562.5	0.9	7.9	0.8	0.33	34.2	1,162	16,584
10	5	662	52.1	0.2	8.1	0.3	0.33	11.7	13,460	14,763
11	6	859	62.5	0.2	7.2	2.1	0.33	16.6	2,536	11,498
12	2	450	46.6	0.1	7.7	1.8	0.31	12.1	9,009	25,450
2011 1	6	327	33.9	0.4	7.7	0.6	0.30	11.2	4,430	10,243
2	5	830	36.6	0.0	6.4	1.5	0.31	22.3	2,181	15,494
3	9	919	182.8	0.2	6.0	1.1	0.30	9.4	4,674	19,671
4	5	856	210.1	0.4	6.9	0.0	0.29	6.4	5,340	23,505
5	13	1,260	1,226.3	0.5	7.3	2.6	0.28	16.7	4,542	53,414
6	7	964	4.6	0.8	7.6	3.3	0.28	8.0	3,718	19,619
7	6	6,048	1,001.6	1.6	7.7	2.4	0.28	1.5	4,648	22,852
出所	東京商工リサーチ沖縄支店		県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2011年7月より2010年 = 100に改定された。

注) 失業率は、2010年5月より原数値から季節調整値に変更し、遡って掲載した。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (還収 超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2008FY	3,246	4,610	1,349	2.519	357	12.5	5,416	16.3	2,200	0.406
2009FY	3,124	4,330	1,203	2.435	325	8.8	4,889	9.7	1,206	0.247
2010FY	3,411	4,464	1,052	2.403	305	6.1	4,627	5.4	530	0.115
2010 6	297	294	3	2.419	27	13.8	392	15.1	24	0.062
7	239	311	71	2.421	24	16.5	323	24.2	14	0.044
8	297	427	130	2.418	29	5.5	469	17.7	26	0.056
9	314	497	183	2.411	25	4.6	399	0.8	33	0.082
10	290	377	86	2.413	22	10.1	340	6.0	27	0.079
11	261	375	113	2.411	27	4.3	375	8.2	81	0.217
12	579	218	361	2.403	25	6.8	321	16.8	25	0.079
2011 1	123	543	419	2.399	24	2.7	355	3.6	30	0.084
2	236	331	94	2.386	23	3.7	335	6.6	69	0.205
3	294	393	98	2.361	27	13.1	470	6.5	104	0.222
4	331	247	84	2.377	22	16.0	372	17.2	31	0.082
5	156	480	323	2.371	28	7.3	454	13.5	42	0.092
6	250	287	37	2.367	25	7.8	392	0.0	33	0.084
7	-	-	-	-	23	7.0	313	3.1	31	0.100
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協 会債務残高	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2008FY	32,831	1.8	27,035	1.7	47,297	2.1	11,156	4.4	1,792	47.0
2009FY	35,626	8.5	27,551	1.9	49,543	4.7	10,677	4.3	2,204	23.0
2010FY	38,117	7.0	27,573	0.1	52,331	5.1	10,019	6.8	2,094	5.0
2010 6	36,701	5.7	26,586	0.7	51,413	3.6	10,425	3.9	2,105	10.7
7	36,249	6.3	26,423	0.2	50,803	4.1	10,409	3.7	2,099	6.7
8	36,391	6.9	26,496	0.3	50,505	4.1	10,366	3.8	2,115	5.0
9	36,975	6.3	26,951	0.9	50,865	4.6	10,272	4.0	2,114	2.0
10	36,237	6.6	26,497	0.6	50,100	5.0	10,215	4.4	2,111	1.0
11	36,626	6.7	26,553	0.5	50,372	4.5	10,150	4.6	2,097	0.3
12	36,488	6.1	26,656	0.8	50,237	4.0	10,081	4.9	2,110	1.4
2011 1	36,442	6.7	26,671	0.5	49,805	4.2	10,009	5.0	2,088	3.0
2	36,887	6.7	26,990	0.2	50,198	4.3	9,956	5.3	2,073	4.1
3	38,117	7.0	27,573	0.1	52,331	5.1	10,019	6.2	2,094	5.0
4	38,580	8.4	26,615	0.4	52,463	5.3	9,951	6.1	2,044	5.7
5	38,946	8.6	26,554	0.2	52,770	5.7	9,890	6.1	2,003	5.6
6	40,223	9.6	26,663	0.3	54,785	P 6.6	9,783	6.2	1,987	5.6
7	39,405	8.7	26,515	0.4	-	-	9,754	6.3	1,969	6.2
出所	琉球銀行		琉球銀行		日本銀行那覇支店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) Pは速報値。